

※本リリースは中国 大連にて7月3日に発表されたプレスリリースの抄訳です。

シュナイダーエレクトリック、バタムのスマートファクトリーが世界経済フォーラムにより第4次産業革命のモデル拠点として選定

- インドネシアのバタム工場がフランスのル・ヴォードライユ工場、中国の武漢工場に続き、世界経済フォーラムにより先進的な工場として選定された3つ目の拠点に
- シュナイダーエレクトリックは「スマートファクトリープログラム」を通じて世界中に9工場を設立し、産業のデジタルトランスフォーメーションを分かりやすく提示
- シュナイダーエレクトリックのスマートファクトリーの基盤である「EcoStruxure™」ソリューションによって競争が激化する環境で効率性を向上

2019年7月3日、大連（中国） – エネルギーマネジメントおよびオートメーションにおけるデジタルトランスフォーメーションのリーダーであるシュナイダーエレクトリックは、インドネシアのバタム島にある同社のスマートファクトリーが、世界経済フォーラムの第13回ニュー・チャンピオン年次総会（AMNC）で第4次産業革命をリードする先進的なモデル拠点として選定されたことを発表しました。バタム工場は、シュナイダーエレクトリックにとって、フランスのル・ヴォードライユ工場と中国の武漢工場に続いて先進的なモデル拠点として選定された3つ目の工場となります。なお、ル・ヴォードライユ工場と武漢工場は、2018年にそれぞれ「世界で最も先進的な9つのモデル拠点」と「発展途上のモデル拠点」に選定されています。

アジアにおけるデジタルトランスフォーメーションの道を開くバタムのスマート工場

バタム工場は、スマートセンサー、アラーム予測管理、拡張現実（AR）といったさまざまなインダストリアル IoT（IIoT）テクノロジーを包括的に導入し、運用、メンテナンス、エネルギー使用量を可視化して競争力を強化しています。バタム工場は、メンテナンスコストの削減と、全体的な設備効率の向上を目標として、1年間でマシンのダウンタイムを44%削減しました。

また、エンドツーエンドの需要管理を行うプランニングやスケジュール管理などのデジタルツールの導入によって IT と OT（運用技術）の融合を図っているほか、あらゆるパートナーと連携し、全従業員に働きかけ、期限内の納入を40%向上させました。

さらに、機械学習、AI、予知保全およびデジタル保全と、コネクテッドマシン・コネクテッドプロセスの技術検証プラットフォームでもあります。ビッグデータ、クラウド、IIoTテクノロジーを統合し、アジアの企業がデジタルトランスフォーメーションに取り組みエネルギー効率と持続可能性を長期的に向上させるための先進的なモデルとなっています。

サプライチェーンのデジタルトランスフォーメーション「Tailored Sustainable Connected 4.0」

シュナイダーエレクトリックはこれまでに、米国、メキシコ、中国、フランス、インド、インドネシア、フィリピンに9つのスマートファクトリーを設立しています。これらの工場は、シュナイダーエレクトリックによるサプライチェーンのデジタルトランスフォーメ

報道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：金光真弓（かなみつまゆみ）

住所：東京都港区芝浦二丁目15-6 オア-ゼ芝浦 MJビル

TEL：080-3022-3067

Email：Mayumi.Kanamitsu@se.com

ーション「Tailored Sustainable Connected 4.0」の中核を成しています。サプライチェーンの運用全体にわたり EcoStruxure のプラットフォームとアーキテクチャを通じてデジタル化を活用し、エンドツーエンドの統合と可視化でパフォーマンスの向上を実現しています。

シュナイダーエレクトリックは先ごろ、ガートナー社による 2019 年度「Supply Chain Top 25」で 11 位にランクインしました。また、ガートナー社の 2019 年度「Supply Chain Innovator Awards」で「Industrial Supply Chain Innovator 2019」を受賞しました。この賞は、工業生産セクターにおいて、画期的かつ革新的で影響力の大きいサプライチェーンの取り組みを評価するものです。

成功の基盤である EcoStruxure

シュナイダーエレクトリックのスマートファクトリープログラムは、コネクテッドデバイス、エッジコントロール、アプリケーション、ナリティクス、デジタルサービスで構成される EcoStruxure プラットフォームを基盤として構築されています。このプラットフォームは、意思決定者やマネージャーが迅速にコスト効率良く業務をデジタル化し、投資から速やかに利益を得られるよう支援します。

シュナイダーエレクトリックのインダストリアルオートメーション担当エグゼクティブバイスプレジデントである Peter Herweck は次のように述べています。「デジタルトランスフォーメーションへの第一歩を踏み出すことは難しいことのように思えますが、当社の『EcoStruxure for Industry』アーキテクチャとプラットフォームにより、マシンやプロセスをデジタル化すると同時に、効率的に利益の最大化を図ることができます。」

シュナイダーエレクトリックの EcoStruxure アーキテクチャおよび IIoT 対応ソリューションについての詳細は、<https://www.schneider-electric.com/en/work/campaign/innovation/overview.jsp> をご覧ください。

Schneider Electricについて

シュナイダーエレクトリックは、全ての人々がエネルギーとデジタルにアクセスできる環境を提供したいと考えています。少ない労力で最大限の効果を得る「Do more with less」により、いつでも、どこでも、だれにでも「Life Is On」を実現します。

世界をリードするエネルギー技術、リアルタイムオートメーション、ソフトウェアとサービスを「ビル、データセンター、電力インフラ、工場」向けに統合し、効率化と持続性を可能にするエネルギーとオートメーションのデジタルソリューションを提供しています。

私たちは、意義深い目標と包括的で実行力を伴う価値観をもって、オープン、グローバル、そして革新的なコミュニティの発展に尽力します。

www.se.com/jp

Discover Life Is On

Follow us on:      

Hashtags: #SchneiderElectric #LifeIsOn #EcoStruxure #IIoT #SmartFactory #DigitalTransformation #Industry #Automation

報道関係からのお問合せ先

シュナイダーエレクトリック

広報担当：金光真弓（かなみつまゆみ）

住所：東京都港区芝浦二丁目 15-6 オア-ゼ芝浦 MJビル

TEL：080-3022-3067

Email：Mayumi.Kanamitsu@se.com